

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)
【単独事業】

市町名	大田原市
-----	------

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	屋台まつり事業 (先行交付申請)	総事業費		5,404,550	7,455,316	8,365,927	7,240,000	28,465,793
		うち市町支出額		500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000	11,000,000
		うち県交付金		250,000	1,375,000	1,375,000	0	3,000,000
2	那須野が原星空 ネットワーク構築事業	総事業費		801,702	652,342	661,324	560,000	2,675,368
		うち市町支出額		596,000	487,000	495,000	0	1,578,000
		うち県交付金		298,000	243,500	247,500	0	789,000
3	那珂川レディース 鮎釣り大会実施事業	総事業費		1,093,225	1,251,194	1,221,671	1,125,000	4,691,090
		うち市町支出額		800,000	800,000	800,000	800,000	3,200,000
		うち県交付金		400,000	400,000	400,000	0	1,200,000
4	地域資源を活かし、 関係人口の創出をは かる金丸地域の活性 化事業	総事業費	1,350,913	1,159,736	1,307,018	938,000	938,000	5,693,667
		うち市町支出額	843,000	859,000	890,000	0	0	2,592,000
		うち県交付金	421,500	429,500	445,000	0	0	1,296,000
5	夢のある里づくり 事業	総事業費	1,248,538	1,149,573	1,089,490	823,200	823,200	5,134,001
		うち市町支出額	882,000	850,000	813,000	0	0	2,545,000
		うち県交付金	441,000	425,000	406,500	0	0	1,272,500
6	地域の歴史的伝統の 菊文化の復活と普及活 動を通じた関係人口の 創出による金丸・大田 原の活性化事業	総事業費	1,498,008	1,458,379	1,267,870	945,000	945,000	6,114,257
		うち市町支出額	797,000	868,000	806,000	0	0	2,471,000
		うち県交付金	398,500	434,000	403,000	0	0	1,235,500
7	雲巖寺周辺地域活 性化事業	総事業費	1,111,000	1,897,871	1,307,000	721,700	721,700	5,759,271
		うち市町支出額	750,000	980,000	0	0	0	1,730,000
		うち県交付金	375,000	490,000	0	0	0	865,000
8	歴史的文化資産の 活用による那須地 域の活性化事業	総事業費	609,004	1,526,910	1,493,831	1,151,500	1,151,500	5,932,745
		うち市町支出額	346,000	962,000	1,000,000	0	0	2,308,000
		うち県交付金	173,000	481,000	500,000	0	0	1,154,000
9	おおたわら丘ポタ & 激ポタ	総事業費	2,653,501	2,794,000	2,728,000	2,590,000	2,590,000	13,355,501
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	3,000,000
		うち県交付金	500,000	500,000	500,000	0	0	1,500,000
10	地元再発見！生まれ る絆☆人がつながる ヒーMAP～大田原ファ ン&サポーター大募集 ～事業	総事業費	927,071	1,305,751	1,382,499	746,200	746,200	5,107,721
		うち市町支出額	695,000	975,000	975,000	0	0	2,645,000
		うち県交付金	347,500	487,500	487,500	0	0	1,322,500
11	芸術文化を活用し、 関係人口創出を 図る地域活性化 事業	総事業費	2,310,000	2,309,983	2,248,781	1,250,000	1,250,000	9,368,764
		うち市町支出額	1,000,000	2,000,000	2,000,000	1,250,000	1,250,000	7,500,000
		うち県交付金	500,000	1,000,000	1,000,000	0	0	2,500,000
12	湯津上地区天狗王 国まつり実施事業	総事業費	3,590,586	18,755,872	3,797,423	3,700,000	3,700,000	33,543,881
		うち市町支出額	3,150,000	16,000,000	3,250,000	3,450,000	3,450,000	29,300,000
		うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	3,000,000
市町計		総事業費	13,578,617	36,232,771	23,179,933	23,114,522	19,917,400	114,150,043
		うち市町支出額	8,367,000	24,448,000	14,521,000	9,495,000	9,000,000	65,831,000
		うち県交付金	3,608,500	5,224,000	6,260,500	2,022,500	0	17,115,500

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	屋台まつり事業
事業主体の名称	大田原市屋台まつり実行委員会
代表者の名称	委員長 平山 一浩
事業主体の所在	大田原市山の手1丁目1番1号
事業主体の概要	<p>団体の目的:大田原市の祭事、記念行事等に屋台(山車)を出動し、市民の連帯感と郷土愛を育み、伝統文化の継承を図る。</p> <p>・設立年月日:平成3年2月21日</p> <p>・構成員等:大田原市内に屋台を有する町内の祭典委員長等 64名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市中心市街地は、江戸時代には宿場町として栄え、以降本市の中心地として発展してきたが、近年では人口や商業施設の減少など、中心市街地の空洞化が進んでいた。その対策として、平成20年に国の認定を受け、中心市街地活性化事業に取組み、現在は事業により整備した複合商業施設を中心に賑わいを取り戻しつつあるが、人口減少に歯止めがかかっていない状況にある。</p> <p>そのような中、民間事業者による宅地分譲により、新たな居住者が増えている地域もあり、今後、地域コミュニティの強化を図るうえで住民間で交流を促進し、連帯感を醸成していく必要がある。連帯感を醸成し地域の後継者を育てるとともに、地域外からの新たな担い手の確保も課題となっている。</p>
事業目的	<p>祭りを通して、市民の連帯感と郷土愛を育み、市伝統文化の継承を図るとともに、市外に大田原をPRすることにより産業の振興及び文化の発展を図る。</p> <p>また、他市町及び県外の方々に囃子方として祭りに協力、連携していただくことで交流を促進するとともに、県外出身者が7割を占める国際医療福祉大学生にも祭りに参加してもらうことで、地域の人々や歴史文化についてより深く関わる機会を提供し、将来的には大田原市への移住定住へと繋げることを目的とする。</p>
事業概要	<p>【令和6年度】【I-d】</p> <p>①大田原屋台まつりの実施</p> <p>期日 令和6年4月20日(土)、21日(日)</p> <p>会場 金燈籠交差点</p> <p>内容 中心市街地において、9町内の花鳥・唐獅子など精巧な技法で彫り込まれた華やかな屋台を引き回し、江戸時代から続く伝統行事の継承、祭りを通じて地域の連帯感を培った。他市町からも囃子方として祭りに参加してもらい、関係人口の創出・拡大を図った。また、国際医療福祉大学生に屋台の引き回しに参加してもらい当該事業の魅力を知ってもらうことで、卒業後、大田原市を離れることになっても、当該事業を通じて引き続き大田原市との関係を保ち、将来的な地域の担い手としての貢献や移住定住に期待できるものとなった。</p> <p>②大田原屋台まつり写真コンクールの実施</p> <p>内容 祭り期間中に撮影した屋台、屋台引き回し、ぶっつけ等の迫力ある写真を応募対象として写真コンクールを実施した。祭り当日から、祭りの写真コンクールへ事業展開することで、地域への継続的な関りを創出した。</p> <p>【KPI向上の取組】</p> <p>江戸時代から続く大田原屋台まつりの伝統及び祭りの醍醐味である屋台同士のお囃子の競演「ぶっつけ」の迫力を市内外に広く情報発信するためのPRを強化する。</p> <p>【令和7年度】</p> <p>令和6年度の成果を踏まえ、祭り来場者の増加及びおもてなしの向上を図り、更なる来場者の増加に取組んでいく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (地域資源を活用した観光振興)</p> <p>【KPI】観光入込客数 3,500,000人/年【2023年(実績) 3,344,852人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の	
				事業費計	翌年度
事業内容	大田原屋台まつり実施 写真コンクール開催	大田原屋台まつり実施 写真コンクール開催	大田原屋台まつり実施 写真コンクール開催		
事業費	5,404,550	7,455,316	8,365,927	21,225,793	
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	3,500,000	3,500,000	7,500,000	
うち県交付金	250,000	1,375,000	1,375,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	4,904,550	3,955,316	4,865,927	13,725,793	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支予算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	屋台まつり事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	3,500,000	大田原市屋台出動事業費補助金
負担金	630,000	出動負担金(9町×@70,000円)
事業収入	2,439,300	カレンダー販売、スポンサー、お土産販売
雑収入	306,128	預金利息、祝金等
繰入金	700,000	積立金から繰入れ
繰越金	790,499	前年度より繰越
計	8,365,927	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	2,250,000	0	0	2,250,000	屋台出動謝礼
交際費	98,838	0	0	98,838	交際費
消耗品費	72,070	10,000	5,000	62,070	事務用品
印刷製本費	936,100	770,000	215,000	166,100	カレンダー印刷費、看板関係等
食糧費	666,680	0	0	666,680	慰労会費、会議時飲物等
通信運搬費	78,808	40,000	20,000	38,808	郵送料等
広告費	1,119,103	940,000	470,000	179,103	ネット広告費、スポンサー看板、チラシ・ポスター作成費
委託料	2,126,951	1,740,000	665,000	386,951	会場設置費、写真コンクール開催業務委託、警備等委託
使用料及び賃借料	30,000	0	0	30,000	OA機器・システム使用料等
旅費	182,665	0	0	182,665	視察費
積立金	100,000	0	0	100,000	
繰越金	704,712	0	0	704,712	
計	8,365,927	3,500,000	1,375,000	4,865,927	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	那須野が原星空ネットワーク構築事業
事業主体の名称	大田原市星旅祭実行委員会
代表者の名称	八木沢 政和
事業主体の所在	大田原市山の手2-6-13
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 星空日本一に輝いたことのある大田原市から星空の魅力を伝えることを通して、自然環境豊かな住みよい街での市民交流を図る。 ・設立年月日: 平成28年4月25日 ・構成員等: 大田原市、那須塩原市、那須塩原市在住の有志
当該事業に係る地域の現状と課題	大田原市は、北に那須連山、東に八溝山が広がり、星空環境として恵まれた環境である。過去には環境庁主催の全国星空継続観察において日本一にもなったことのある場所であり、都市部からの移住者、旅行者からは、街なかで天の川や星座が見えることの感動の音が聴ける星空環境である。一方で、LED化された街灯の増加にともない星空環境は年々悪化させている状況にあることや、市民の多くが星空の美しい街に住んでいるという意識が低いことが課題と考えられる。
事業目的	星空・宇宙をイメージするイベントの開催と周辺地域連携の星空観望会を開催することで、大田原市並びに那須野が原地域の星空の美しさのアピールするとともに市民交流の場を作る活動を行う。この活動を通して、那須野が原地域の住民に、星空がよく見える地域に住んでいることの魅力を再発見してもらい、全国に発信できるようなシビックプライドの醸成を図っていくことを目的とする。
事業概要	<p>[令和6年度]【I-d】</p> <p>①星旅祭 2024の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日: 令和6年9月21日(土)22日(日) ・会場: 那須野が原ハーモニーホール ギャラリー ・参加資格: 年齢・対象制限なし ・参加費: 基本的には参加費は設けないが、企画により個別に設定する場合あり(ワークショップは参加費あり) ・内容: 移動式室内プラネタリウムの展示、星空写真展、星空音楽会、ワークショップを開催し、子育て世代を中心に気楽に参加できる星空・宇宙のキーワードにした企画を提供した。 <p>②周辺地域(那須塩原市・那珂川町・矢板市)との連携</p> <p>大田原市内ならびに隣接する那須塩原市の図書館・公民館等との連携で、街なか観望会を実施し、那須野が原地域としての星空および地域の魅力の再発見の場を創出した。また、その活動の中でふれあいの丘天文館のPRも進めていくことで、市外からの新たな人の流れの創出が期待できるものとなった。</p> <p>③環境省主催の星空観望会への参加</p> <p>現状の星空環境の現状と課題を考える活動として、夏・冬の星空観望会に参加するとともに、周辺地域で行う星空観望会の中で星空環境の維持のための情報提供を行った。</p> <p>[令和7年度]</p> <p>令和6年度の成果をふまえて、星旅祭、街なか観望会の参加者のニーズをはかり、より広い世代へ参加者増加に取り組む。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (地域資源を活用した観光振興)</p> <p>【KPI】観光入込客数 3,500,000人/年[2023年(実績) 3,344,852人]</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①星旅祭の開催 ②周辺地域(那須塩原市)との連携 ③環境省主催の星空観望会への参加	①星旅祭の開催 ②周辺地域(那須塩原市)との連携 ③環境省主催の星空観望会への参加	①星旅祭の開催 ②周辺地域(那須塩原市)との連携 ③環境省主催の星空観望会への参加		①星旅祭の開催 ②周辺地域(那須塩原市)との連携 ③環境省主催の星空観望会への参加
事業費	801,702	652,342	661,324	2,115,368	560,000
市町支出金(ソフト事業分)	596,000	487,000	495,000	1,578,000	0
うち県交付金	298,000	243,500	247,500	789,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	205,702	165,342	166,324	537,368	560,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支予算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	那須野が原星空ネットワーク構築事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	495,000	大田原市わがまちつながり構築事業補助金
雑収入	121,301	ワークショップ参加費、預金利子
会員準備金	1,965	
繰越金	43,058	
計	661,324	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
報償費	96,000	0	0	96,000	講演会講師謝金
消耗品費	92,549	70,000	35,000	22,549	ワークショップ消耗品・感染症対策消耗品
食糧費	3,000	0	0	3,000	講師弁当代
印刷製本費	146,000	128,000	64,000	18,000	ポスター・チラシ制作印刷代
手数料	2,970	1,000	500	1,970	振込手数料
保険料	3,990	3,000	1,500	990	傷害保険料
委託料	205,000	200,000	100,000	5,000	移動プラネタリウム設置委託、音響・照明運営設置委託
使用料及び賃借料	77,958	60,000	30,000	17,958	会場使用料・備品レンタル代
備品購入費	33,857	33,000	16,500	857	ダジック・アース
計	661,324	495,000	247,500	166,324	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	那珂川レディース鮎釣り大会実施事業
事業主体の名称	芭蕉の里くろばね那珂川レディース鮎釣り大会実行委員会
代表者の名称	会長 吉岡 博美
事業主体の所在	大田原市黒羽田町848番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 清流那珂川にて女性限定の鮎釣り大会を開催することで、新たな鮎釣り人口の増加と地域の活性化を図る。 ・設立年月日: 平成31年4月1日 ・構成員等: 大田原市観光協会会長及び副会長等、那珂川北部漁業協同組合長及び各支部長等、黒羽商工会会長、那須ダイワ(株)顧問 等 15名
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市を流れる清流那珂川は日本有数の鮎の漁獲量を誇るとともに、天然鮎のメッカとして多くの釣り人に愛されており、各種鮎釣りイベントを始め、ダイワやシマノといった大手釣り具メーカーによる全国大会も開催されている。また、那珂川沿岸には鮎を取り扱う様々な事業者も多く、本市の観光資源として多くの観光客を楽しませている。しかしながら、近年では若年層の釣り離れと高齢化により、鮎釣り人口が年々減少傾向となるなど、貴重な地域資源が衰退しかねない危機を迎えており、今後はいかにして鮎釣り人口の増加と地域振興を図っていくかが課題となっている。</p>
事業目的	<p>自然豊かな那珂川にて初心者も参加可能な女性限定の鮎釣り大会を開催することで、新たな鮎釣り人口の増加と河川愛護精神の高揚を目指すとともに、本市へのさらなる観光誘客の増大と地域経済の活性化に寄与することを目的とする。また、日本屈指の清流那珂川の魅力を広くPRするために、市外教育団体(馬頭高校)とも連携を深め、地域の人々や資源について改めて知る良い機会とすることで、将来的には大田原市への移住定住へと繋げることを目的とする。</p>
事業概要	<p>【令和6年度】【I-d】</p> <p>①那珂川レディース鮎釣り大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日: 令和6年8月25日(日) ・会場: 那珂川河川公園(黒羽商工会裏) ・参加資格: 女性(中学生以上、市内外問わず) ・参加費: 参加費4,000円、入漁券付き参加費5,500円 ・内容: 女性限定の鮎釣り大会 <p>釣り道具を無料でレンタルでき、地元ベテラン釣り師がインストラクターとして指導してくれるので、初心者でも安心して参加できる大会となった。</p> <p>②地元事業者による出店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市外及び県外からの参加者も多いことから、本市の特産品PR及び地域の活性化に寄与するため、地元事業者(鮎関係)による販売等を実施した。 ③市外教育団体(馬頭高校)との連携 ・全国唯一の内陸における水産専門学科を有する馬頭高校と連携し、新たに開発した商品をPRするとともに、研究成果等の発表の場としても活用した。また、今回、新たな取組として、馬頭高校の生徒、教員も実際に鮎釣り大会に参加してもらい、本事業の魅力を感じてもらったことで、今後の担い手として期待できるものとなった。 <p>【令和7年度】 令和6年度の成果を踏まえ、鮎釣り人口の増加及びおもてなしの向上を図り、更なる来場者の増加に取組んでいく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (地域資源を活用した観光振興)</p> <p>【KPI】観光入込客数 3,500,000人/年【2023年(実績) 3,344,852人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
	事業内容	那珂川レディース鮎釣り大会実施	那珂川レディース鮎釣り大会実施	那珂川レディース鮎釣り大会実施	
事業費	1,093,223	1,251,194	1,221,671	3,566,088	1,125,000
市町支出金 (ソフト事業分)	800,000	800,000	800,000	2,400,000	800,000
うち県交付金	400,000	400,000	400,000	1,200,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	293,223	451,194	421,671	1,166,088	325,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支予算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	那珂川レディース鮎釣り大会実施事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	800,000	
参加費	328,000	参加者64名(48名@5,500円、16名@4,000円)
繰越金	93,631	前年度繰越金
雑収入	40	預金利息
計	1,221,671	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	295,394	211,000	105,500	84,394	賞品代等
消耗品費	396	0	0	396	事務用品
食糧費	147,451	0	0	147,451	インストラクター昼食代
印刷製本費	165,000	150,000	75,000	15,000	チラシ・ポスター制作費
通信運搬費	3,108	3,000	1,500	108	郵送料(切手代)
保険料	14,448	0	0	14,448	イベント参加者保険代
委託料	472,000	405,000	202,500	67,000	インストラクター等業務委託、映像撮影委託
使用料及び賃借料	74,500	31,000	15,500	43,500	仮設トイレ、公民館借用
予備費	16,341	0	0	16,341	
繰越金	33,033	0	0	33,033	
計	1,221,671	800,000	400,000	421,671	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合